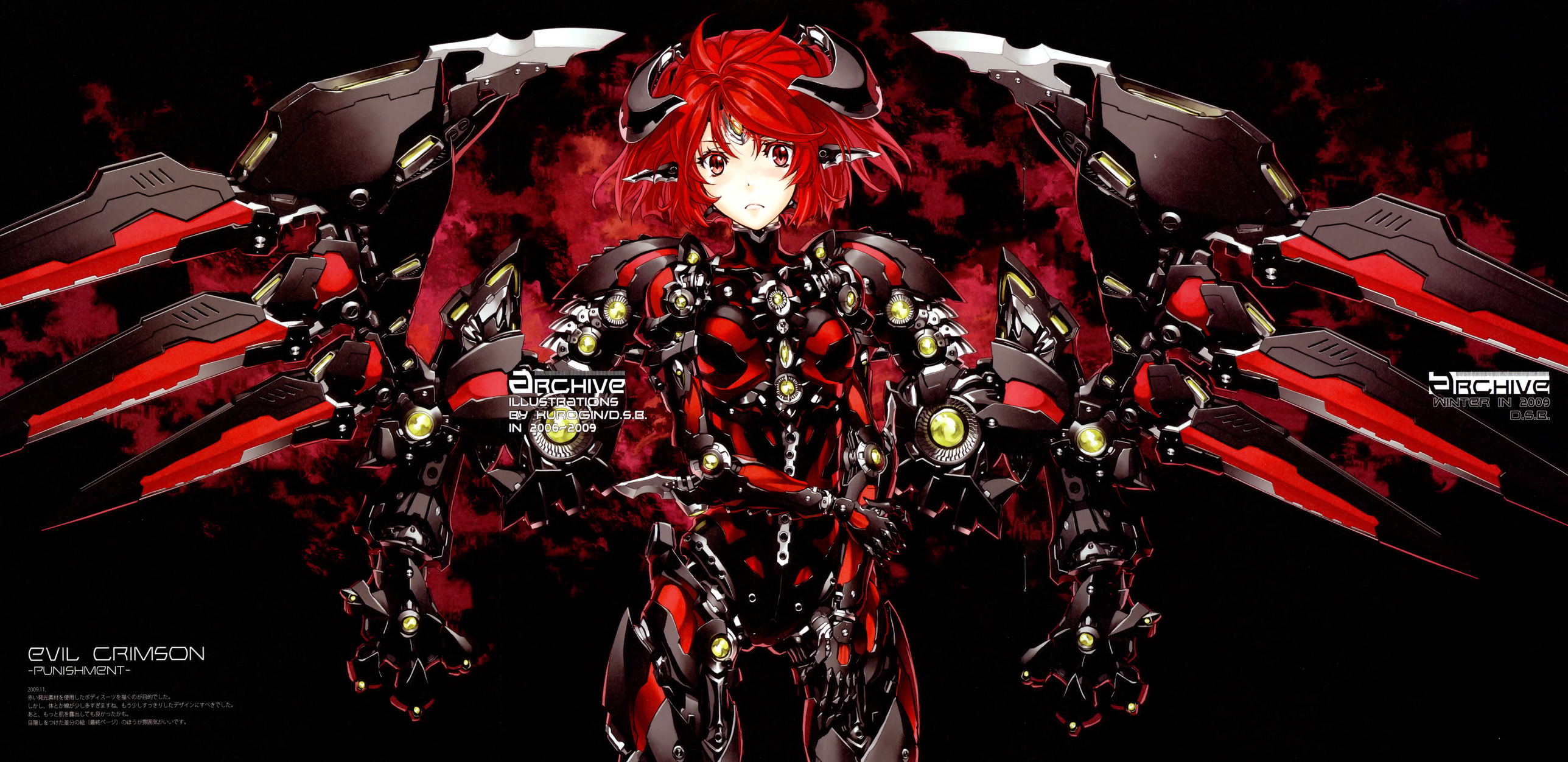


EVIL CRIMSON
-PUNISHMENT-

2009.11.
赤い発光素材を使用したボディスーツを描くのが目的でした。
しかし、体とか線が少し多すぎますね。もう少しすっきりしたデザインにすべきでした。
あと、もっと肌を露出しても良かったかも。
目隠しをつけた差分の絵（最終ページ）のほうが雰囲気がいいです。

JOURNEY OF a WICH REMAKE

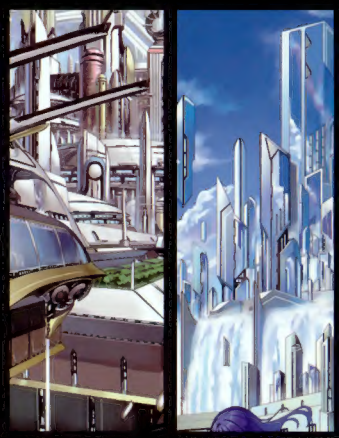
2009.11.
この本に収録した昔の絵、魔女の旅のリメイクです。
キャラデザを当時の稚拙なものそのままに描いたので、途中描きにくくて描きにくくて…。
あと、背景も手を抜き過ぎかな…色々と反省点の多い絵です。

WORLD WIDE

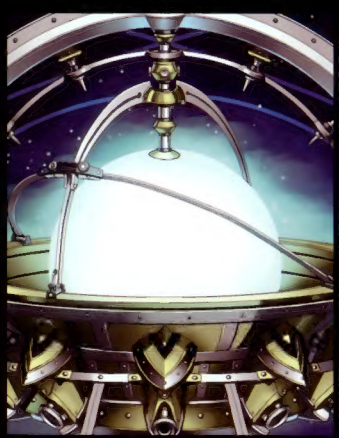
背景までしっかり描きこんで世界観を表現するというのは私の絵の大きなテーマですが、
まだまだ満足のいくレベルには到達していません。
ただこうして昔の絵から並べると、それなりの進歩は見てとれると思います。

ARCHIVE INDEX

P.01 P.02 P.03

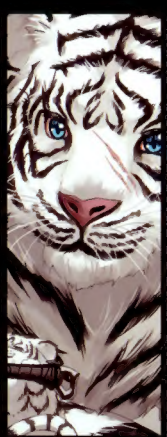


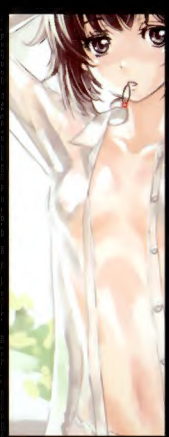
P.04 P.05 P.06 P.07 P.08 P.09

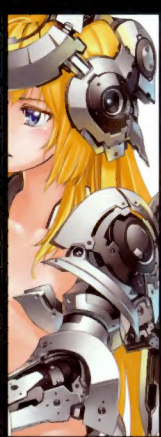


P.10 P.11 P.12 P.13 P.14 P.15

WORLD WIDE







P.16 P.17 P.18 P.19 P.20 P.21

P.22 P.23 P.24 P.25

GIRLS CUTE

P.26 P.27 P.28 P.29

MONOCHROME

ARCH -THE ENDING CHRONICLE-

2008.2.
15回電撃イラスト大賞に送った絵です。
終わりのクロニクルの自動人形ノアをイメージして描いたものです。
12枚の翼、というものをどう描くか悩んだ記憶があります。
非常に高い集中力で仕上げたもので、今見ても全然見れる作品ですね。

GO TO SCHOOL

2008.1.
非常に高度に発達し、環境が完全に制御された浮遊都市の通学風景です。

同じく電撃イラスト大賞に送った絵です。
気合が入った絵なのですが、どうもその気合が空回りしている感が…

CATARACT

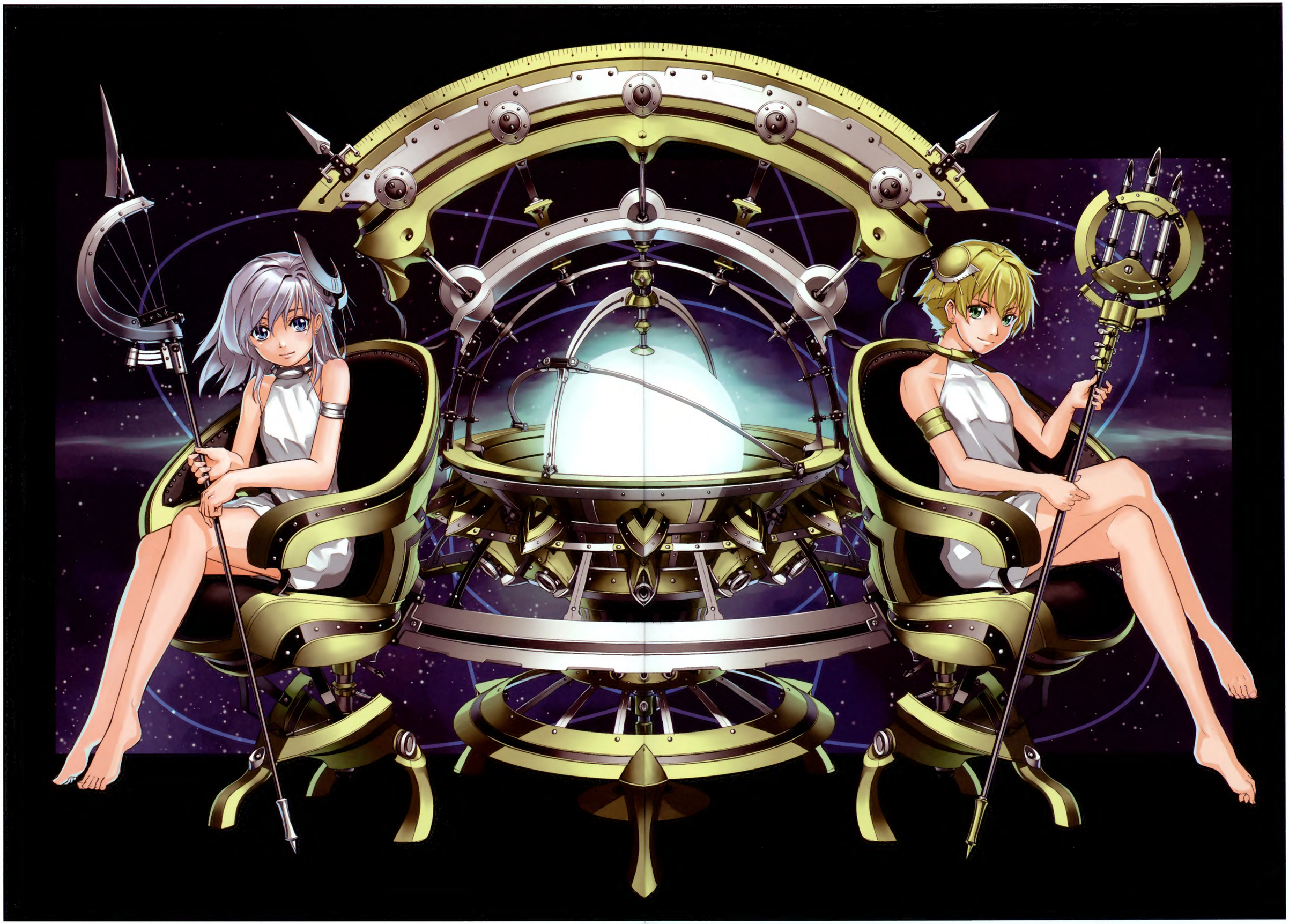
2008.6.
滝の都市です。
正直載せようかどうかすごく迷いました。
いろいろと悩んで、最初のイメージとはかなり変わってしまったのが敗因です。

BUFFALO

2008.12.
2009年の年賀状に描いた絵です。
荒野を行くネイティブアメリカンっぽい少女をイメージしてます。
褐色肌は、上手く描けるとすごく可愛い・色っぽくなるので好きです。

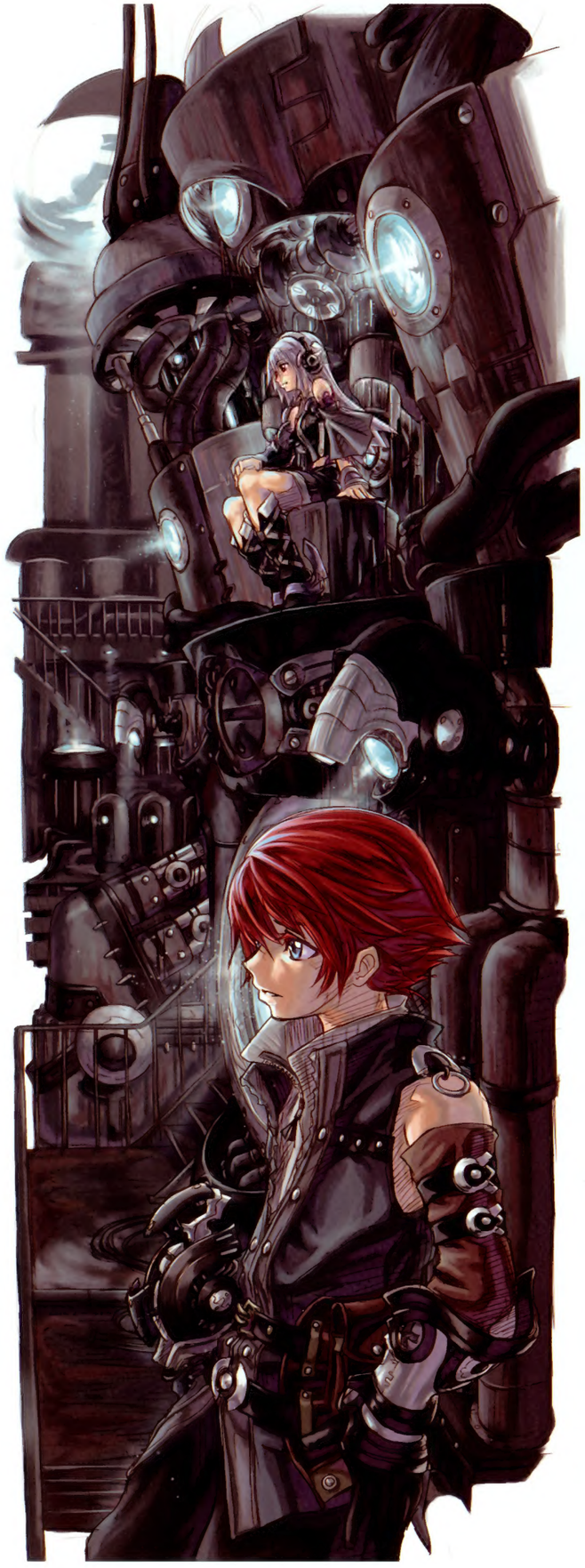
sea OF WHITE ROCK

2008.8.
岩の樹海を旅する少女と、その道案内人がテーマです。
描き始めのイメージからだいぶずれてしまったのが、絵の出来に影響しています。



THRONE OF A CELESTIAL GLOBE

2008.3.
天球を統べるアポロンとアルテミスをモチーフにした絵です。
同人誌「Deus Ex Machina」に収録したものですね。
その本の中ではこれが一番気に入っています。



SATELLA-POLIS

2006.12.
とにかく縦長、というがアイディアの絵ですね。
技術的にはともかく、なかなかカッコいい構図なんじゃないかと今でも思います。
なんか設定とかあったと思うんですが、忘れました。

RENDEZVOUS IN THE MIDNIGHT

2007.?
夜中に逢い引きをするゴンドラ乗りの少年と街の名士のお嬢様です。

いつ頃描いたのかよく覚えていないのですが、何かの公募のために描いた絵です。
紫の都市の中にオレンジの光、という雰囲気はお気に入りです。
デッサンとかパースとか色々ツッコみたいですが。

ATONEMENT

2006.11.
国を滅ぼされた皇女と騎士は、いつか再び帰るため、今は沈みゆく母国に背を向けます。

この本に載っている中では最古の絵です。
さすがにここまで来ると羞恥プレイ以外の何物でもないです。

JOURNEY OF A WICH

2007.3.
空を飛ぶのが苦手な魔女でも、飛空挺に乗ることだけはプライドにかけてしないのです。

当時あったドラゴンマガジンのイラストコンテストに送った絵ですね。
そこで初めて富士見ファンタジア文庫さんとつながりができたので、非常に感慨深いです。
デザインとか当時としてはすごく凝ってて、ずっと、いつかもう一度この子を描こうと思っていました。
今回の描き下ろしでようやく実現したわけですが、見比べてみると当時と今の技術の差がわかって面白いかもしれません。

GOOD MORNING

描き下ろしです。
昔はアクリルっぽい塗りを目指していたので、今でも私の絵にはその名残があります。
この絵はそのころを思い出して描いたのですが、やっぱだいぶ上手くなったと思います。
しかし、透け過ぎだろ…（笑

WHITE TIGARS

2009.12.
描き下ろし、というか、年賀状用に描いた絵です。
予定より早く描けたので、どうせならと思って収録しました。
母トラと子供たち、仲良し白虎家族です。

GIRLS CUTE

女の子を可愛く描くというのは本当に難しいです。
背景抜きで、女の子のみに集中してようやくある程度可愛く描けることが多いのですが、
本当はその上でさらに世界観まで描きたいのです。
道は長いです。

LOVE LETTERS

2008.5

ユリ子ちゃんとクールっ子、モテモテ先輩、メガネ、それに後ろに見える黒髪お嬢を加えた5人娘は私のお気に入りです。
同人誌でも一度描いていますし、また描く機会もあると思います。
ホントは今回も描こうかなと思ってたんですが、線画の段階で描く気が失せてしまった…

GABRIEL

2008.4
同人誌「Deus Ex Machina]の表紙です。
金属の翼と花というモチーフはなかなか面白いと思います。
左は差分で、体の鎧が全部外れてマッパになってます。
我ながら馬鹿なことをしたもんです（笑）
この辺からほぼ金属の描き方は確立してきましたね。

RIDER GIRL

2008.7.
同人誌「Rider Girls」の表紙です。
暑さが厳しくなるのに合わせ、涼しさを求めて北に旅をする女の子という設定でした。

CANNIBALIST

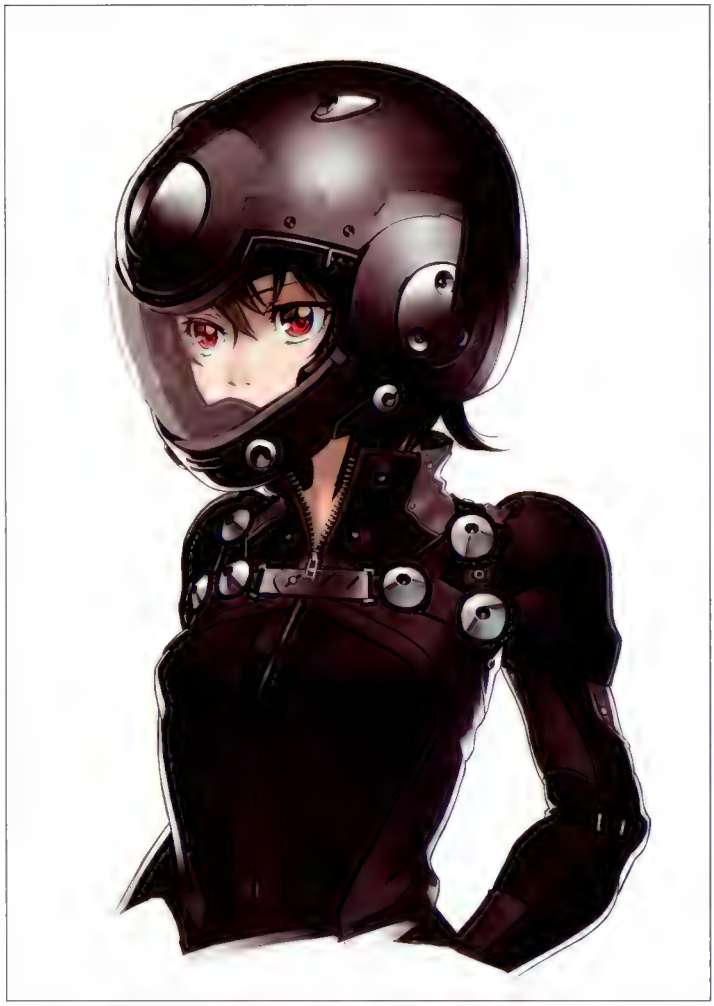
2007.12
ヤンデレちゃんです。
これもFUDGEに載っていた衣装・ポーズを参考にして描いたものです。
右の雪華綺晶もそうなんですが、血をモチーフにした絵は描いてて楽しいです。

SCHNEEKRISTALL

2008.11.
同人誌「Alice/Doll」に収録した、雪華綺晶・大人バージョンです。
雪華綺晶が人間になったら、絶対レクター博士ばりの猟奇殺人犯になると思って描きました。

SULKY

2007.12
これは女性ファッション誌「FUDGE」に載っていた写真を参考に描いたものです。
キャラ単体で描く絵は、顔とかデッサンに集中できるので可愛く描けることが多いですね。



TRIHEAD

MEDOUSA

KALI

ATHENA

JADE STERN

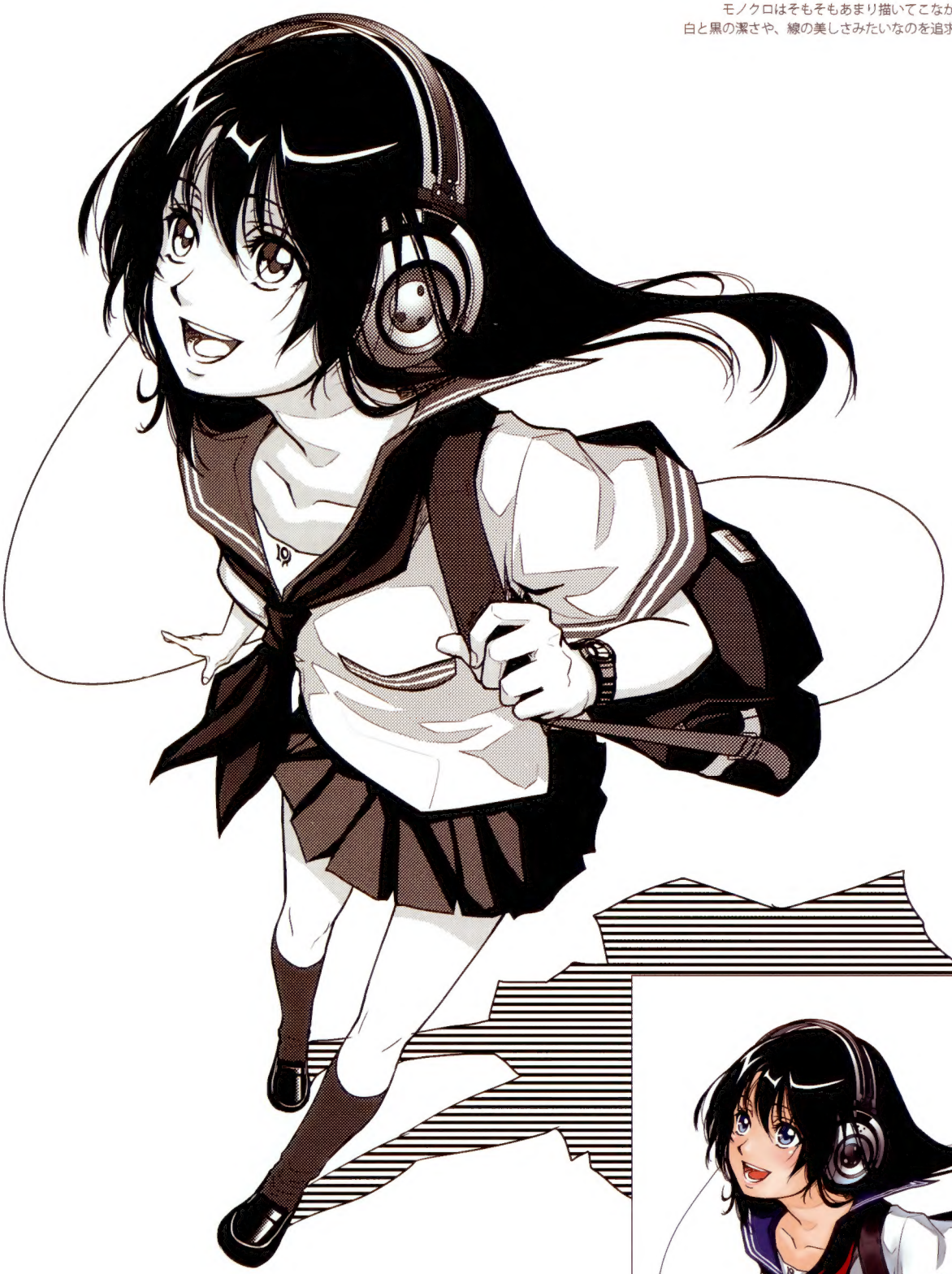
REINER RUBIN

KLEINE BEERE

MERCURY LAMPE

MONOCHROME

モノクロはそもそもあまり描いてこなかったので、枚数は少なめです。
白と黒の潔さや、線の美しさみたいなのを追求したいと思っているのですが、
やはり未だ未熟です。



HEADPHONE

2008.6.
コミックスタジオを使ってトーンを貼る練習に描いたモノクロイラストです。
これまではトーンを使わず完全に白黒だけの絵を描いていたのですが、この辺から
トーンを使うようになりました。
しかし未だにトーンは上手くないです。
そもそも仕事絵以外であんまりモノクロを描かないのが問題なのですが。
右は線画に色をつけたものですね。
こういうペンで線画を描いたイラストも悪くないかもと思っていますが、なかなか描く機会は無いです。

HUSTLER

2008.2.
15回電撃イラスト大賞に送ったモノクロイラストです。
背景が微妙なのはともかく、この構図は我ながらカッコよく描けたと思います。
未だにお気に入りの一枚です。

AGENT

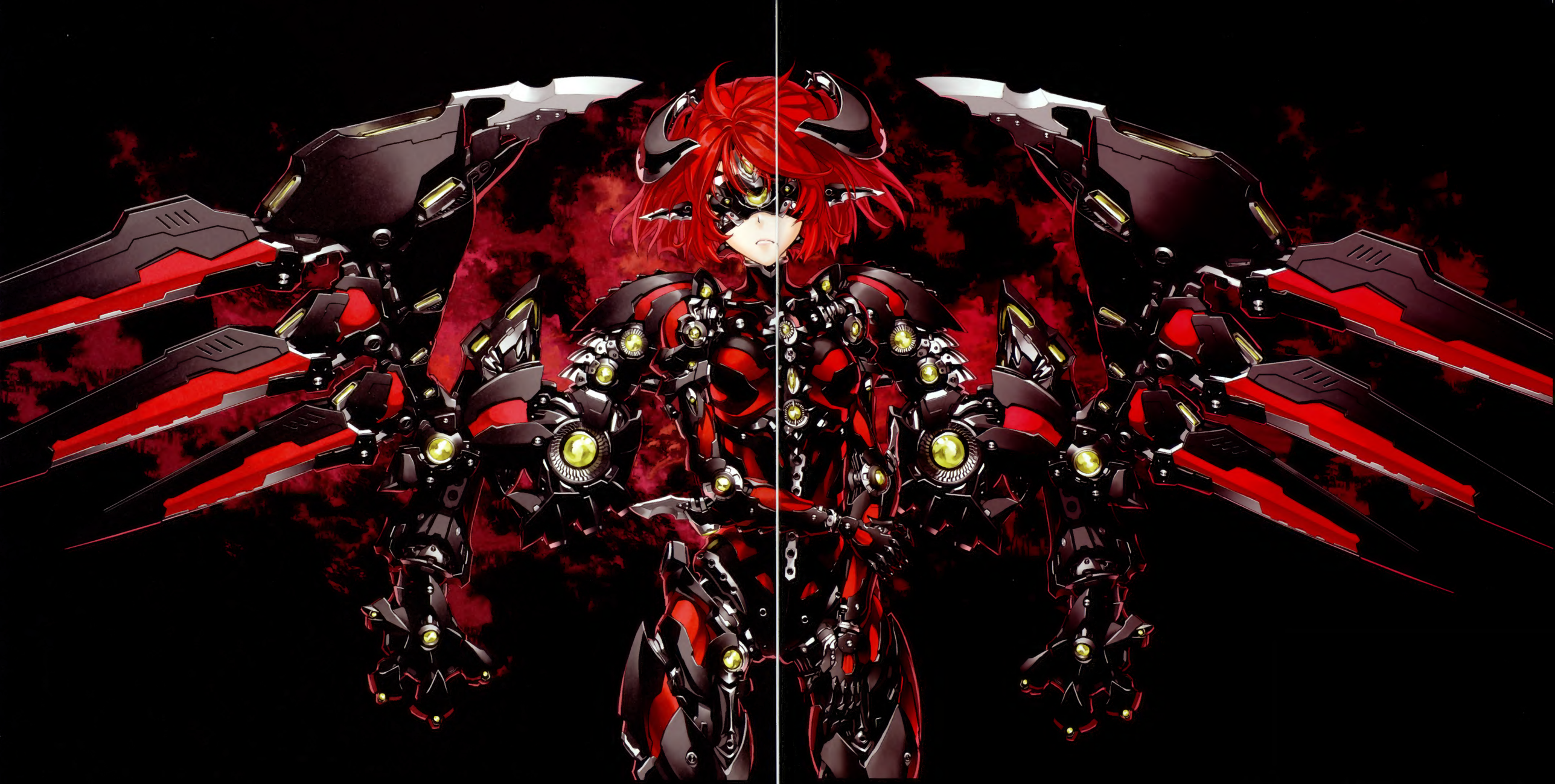
記念すべき最初の同人誌「Dark Matter -Girls and Machines-」に収録した絵です。
モノクロイラスト本でした。
これはそこに描いた絵の中で、唯一今でも見れる絵です。

VI-SW

電撃大賞の絵です(また)
これは出雲とVi-swを描いた絵です。
筋肉を描くのが楽しかったです。

BRYNHILT

2008.2.
これも電撃大賞に送った絵です。
終わりのクロニクルのブレンヒルトと使い魔のネコが喋ってるとこですね。
もう集中が切れてて、背景とかがひどいですが、ネコは可愛く描けてると思います。



ARCHIVE

2009.12.31.Comic Market 77

Published by **Kurogin/D.S.B.**
http://darksilver23.fc2web.com/
darksilver23@hotmail.co.jp

Printed by **Graphic**

Copyright(C) 2009 **Kurogin** all rights reserved

EVIL CRIMSON
-sacrifice-

こんにちは、黒銀です。
今回はDark Matterではなく、Archiveという別タイトルで出してみました。
内容はその名の通り、昔の絵の中でなんとか今でも見れるものをかき集めてまとめたイラスト本です。
一番最近の絵は諸事情あってほとんど載せられなかったのですが、まあその分描き下ろして頑張ったつもりです。
過去絵はサイトに上げてある絵が多いですが、初めて出す絵なんかもたまにあったりしますね。

さて、今年は私にとっては激動の年と言っていい年でした。
まず、第16回電撃イラスト大賞銀賞の受賞、そして念願のライトノベルデビュー、その他もろもろ。
そういった年に、ある種の節目としてこういう本を作ることは、一度後ろを振り返るいい機会だった思います。
この本を編集して昔の絵を色々見たわけですが、もはや完全に羞恥プレイで、転げ回りたくなるようなものばかりでした。
でも、そういった時期を経て今の絵があるのだなあと思うと、同時になにか感慨深いものもありました。
いまだ上手いとは言えない私の絵ですが、少なくともここ数年で大きく進歩はしていますし、その進歩はまだ全然止まっていません。
色々とお仕事をいただけるようになったからこそ、まだまだ上手くなっていきたいものです。

イラスト本もこれで6冊目、これから忙しくなっていくと思いますが、これからもちょくちょくイラスト本出していくつもりです。
また見かけたら手に取ってみてください。
次は出来れば5月のコミティアで出したいですが…どうでしょうね。
まあともかく、またお会いしましょう！

黒銀